

# 兵庫県下の経済動向

平成30年6月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、緩やかに拡大している。  
輸出は増加基調にあり、個人消費は、緩やかに持ち直している。  
また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は弱めの動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月連続で前年実績を上回った。

乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

家電販売は、前年を下回った。

設備投資は、高水準で推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共工事請負金額は、前年を上回った。

貿易は、輸出は、中国を始めとするアジア向けを中心に増加したため、前年を上回った。輸入は、前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、前年を上回った。

雇用関係では、新規求人数は前年を上回り、有効求人倍率は前月から横ばいとなった。

また、所定外労働時間、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

### 兵庫C I及び兵庫D Iから見た県内の景気動向

3月の兵庫C Iは、先行指数100.4、一致指数118.4、遅行指数107.7となった。

3月の兵庫D Iは、先行指数14.3%、一致指数62.5%、遅行指数62.5%となった。

兵庫C Iは、先行指数が2か月ぶりに前月差減、一致指数が2か月ぶりに前月差減、遅行指数は4か月ぶりに前月差減となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が3か月連続で50%を下回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、横ばい局面（下方への局面変化）を示している。」としている。

\*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数（兵庫D I）は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数（兵庫C I）は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は102.6、前月比1.5%減で2か月連続で減少、出荷指数は103.8、同0.4%増で2か月ぶりに増加、在庫指数は117.4、同2.6%増で2か月ぶりに増加した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比0.5%減で2か月ぶりに減少、出荷は同0.2%減で7か月ぶりに減少、在庫は同3.4%増で10か月連続で増加した。

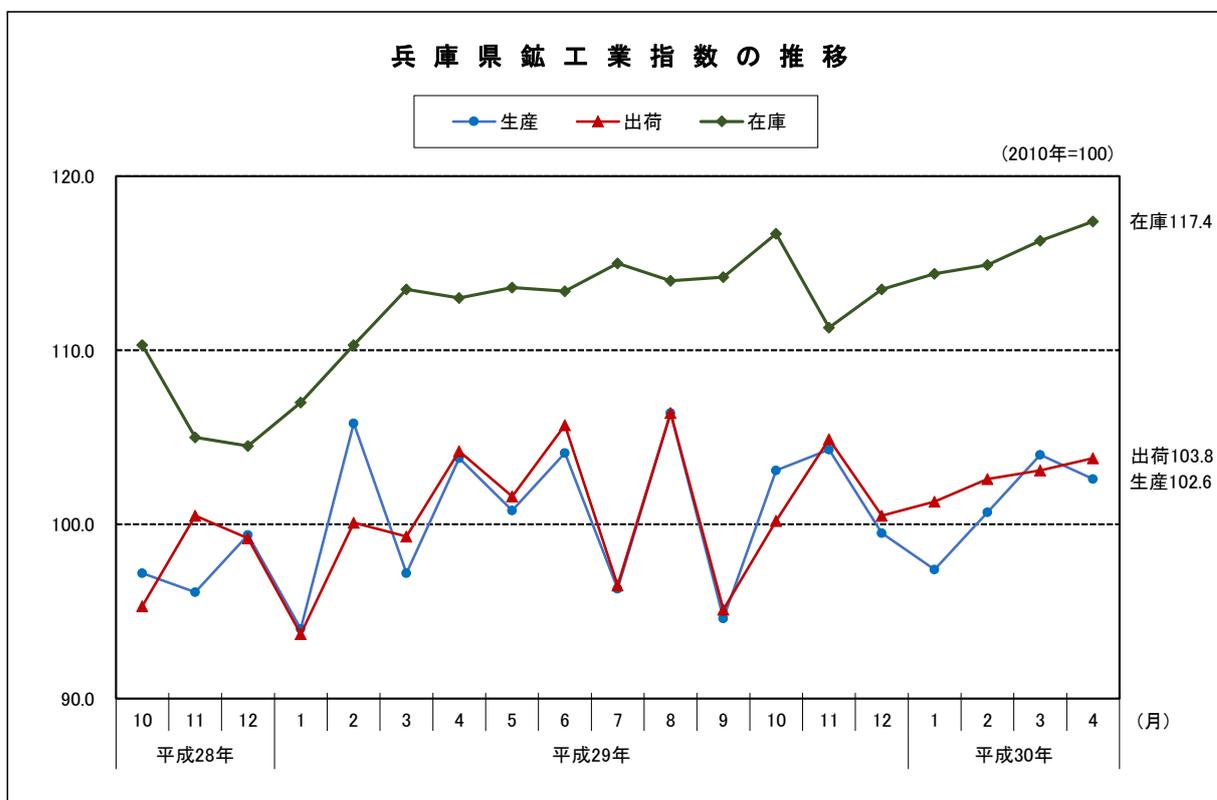
主要業種の生産動向を対前月比でみると、「鉄鋼業」(亜鉛めっき鋼板等)が1.1%、「金属製品工業」(ガス風呂がま等)が6.7%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(集じん機器等)が3.2%、「情報通信機械工業」(固定通信装置等)が17.3%、「窯業・土石製品工業」(こうろう鉄器製品等)が6.9%、「化学工業」(医薬品等)が1.4%各々増加し、「電気機械工業」(開閉制御装置等)が10.9%、「輸送機械工業」(旅客車等)が14.0%、「食料品工業」(しょうゆ等)が1.6%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる。」とした。

4月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	原 指 数		
		対前月比 増減 (%)	原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	102.6	▲ 1.5	98.1	▲ 0.5
出 荷	103.8	0.4	98.1	▲ 0.2
在 庫	117.4	2.6	113.3	3.4
在 庫 率	170.6	42.9	169.0	48.2

資料：兵庫県企画県民部統計課



## 4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	97.4	1.1	上昇	亜鉛めっき鋼板、粗鋼、鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材
			低下	鍛鋼品、鋳鉄管、鉄系鍛工品、ブリキ
金属製品 工業	99.4	6.7	上昇	ガス風呂がま、ガス温水給湯暖房機、ねじり棒ばね、鋼索
			低下	ガス温風暖房機、軽量鉄骨系パネル、18リットル缶、スチール・ステンレスドア
はん用・生産 用・業務用 機械工業	90.5	3.2	上昇	集じん機器、圧縮機、はん用内燃機関、特殊鋼切削工具
			低下	蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、ボイラ部品、油圧バルブ
電気機械 工業	148.1	▲10.9	上昇	リチウムイオン蓄電池、一般用タービン発電機、電力変換装置、工業用計測制御機器
			低下	開閉制御装置、非標準油入り変圧器(1万kVA以上)、クッキングヒーター、一般用エンジン発電機
情報通信 機械工業	120.4	17.3	上昇	固定通信装置、ノート型パソコン、カーナビゲーション、携帯電話
			低下	テレメータ・テレコントロール、無線位置測定装置、入出力装置、基地局通信装置
輸送機械 工業	132.5	▲14.0	上昇	機体部品、特殊自動車、機関部品、内燃機関電装品
			低下	旅客車、船用ディーゼル機関、特装ボデー、発動機部品
窯業・土石 製品工業	111.0	6.9	上昇	ほうろろ鉄器製品、セメント、ガラス製容器類、耐火れんが
			低下	道路用コンクリート製品、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、ファインセラミックス(構造材)、空洞コンクリートブロック
化学工業	104.7	1.4	上昇	医薬品、化粧品、複合肥料(化成肥料)、アクリル酸エステル
			低下	脂肪酸、自動車排気ガス浄化用触媒、水系合成樹脂塗料、シンナー
食料品工業	86.4	▲1.6	上昇	清酒、冷凍調理食品、肉製品、牛乳
			低下	しょうゆ、精米、ビール類、アイスクリーム

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた4月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比4.2%減の112億48百万円と、8か月連続で前年実績を下回った。

「美術・宝飾・貴金属」が10.8%減、海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」が7.9%減と、高額品が伸びなかった。「婦人服・洋品」も2桁減だった。

一方、「紳士服・洋品」は14.4%増で好調をキープ。高価格帯や紫外線（UV）ケア商品が健闘した「化粧品」も14.9%増と堅調だった。

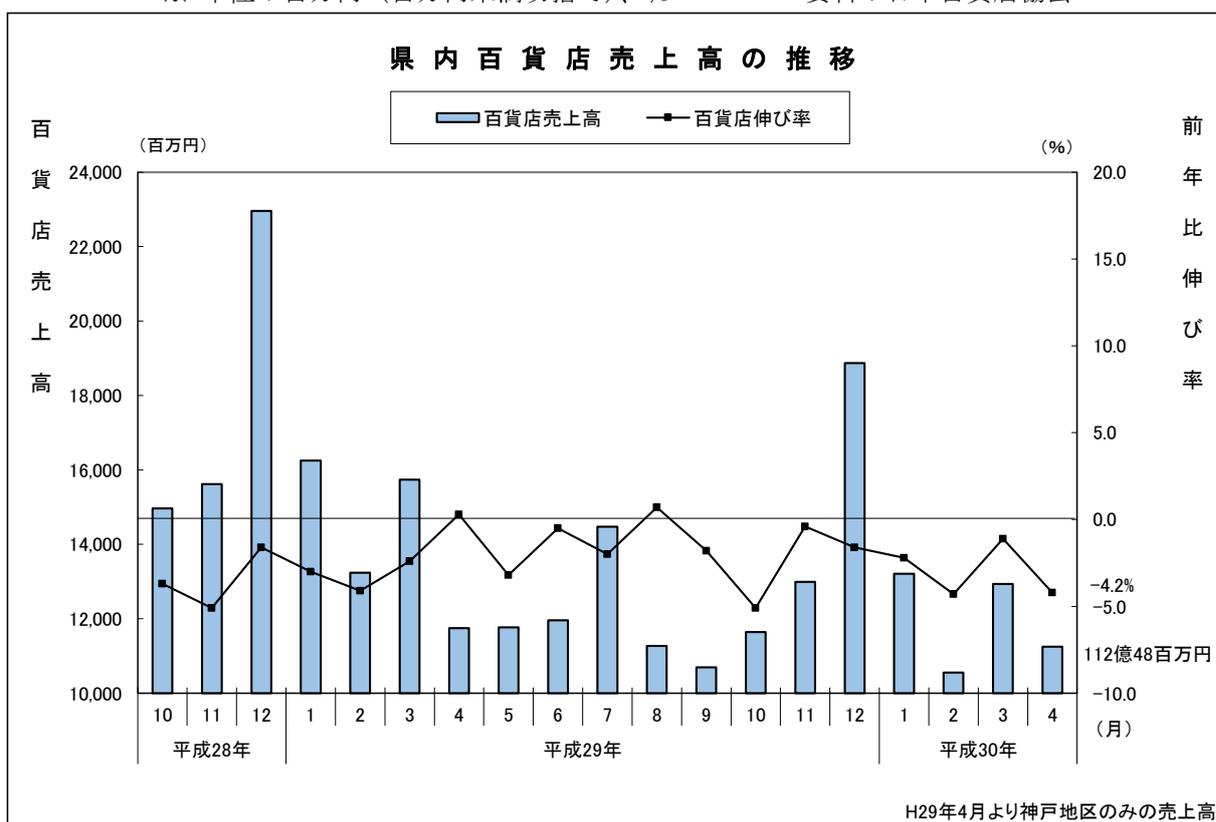
同協会は「急な気温上昇で春物のコートなど重衣料が苦戦したとみられる」としている。

### 4月の神戸地区の百貨店売上高

品 目	売上高	前年同月比
紳 士 服 ・ 洋 品	729	14.4
婦 人 服 ・ 洋 品	3,458	▲ 10.1
子 供 服 ・ 洋 品	342	▲ 6.3
そ の 他 衣 料 品	197	7.4
身 の ま わ り 品	990	▲ 7.9
雑 貨	1,963	▲ 1.4
家 庭 用 品	392	▲ 3.3
食 料 品	2,812	▲ 1.9
食 堂 ・ 喫 茶	254	▲ 0.1
サ ー ビ ス	57	▲ 6.9
そ の 他	48	▲ 8.8
<b>計</b>	<b>11,248</b>	<b>▲ 4.2</b>

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

資料：日本百貨店協会



## 【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は12,780台、前年同月比1.0%増と2か月連続して前年同月の実績を上回った。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,966台(前年同月比4.1増)、小型乗用車は3,464台(同4.0%減)、軽乗用車は4,350台(同1.9%増)、乗用車合計で12,780台(同1.0%増)となった。

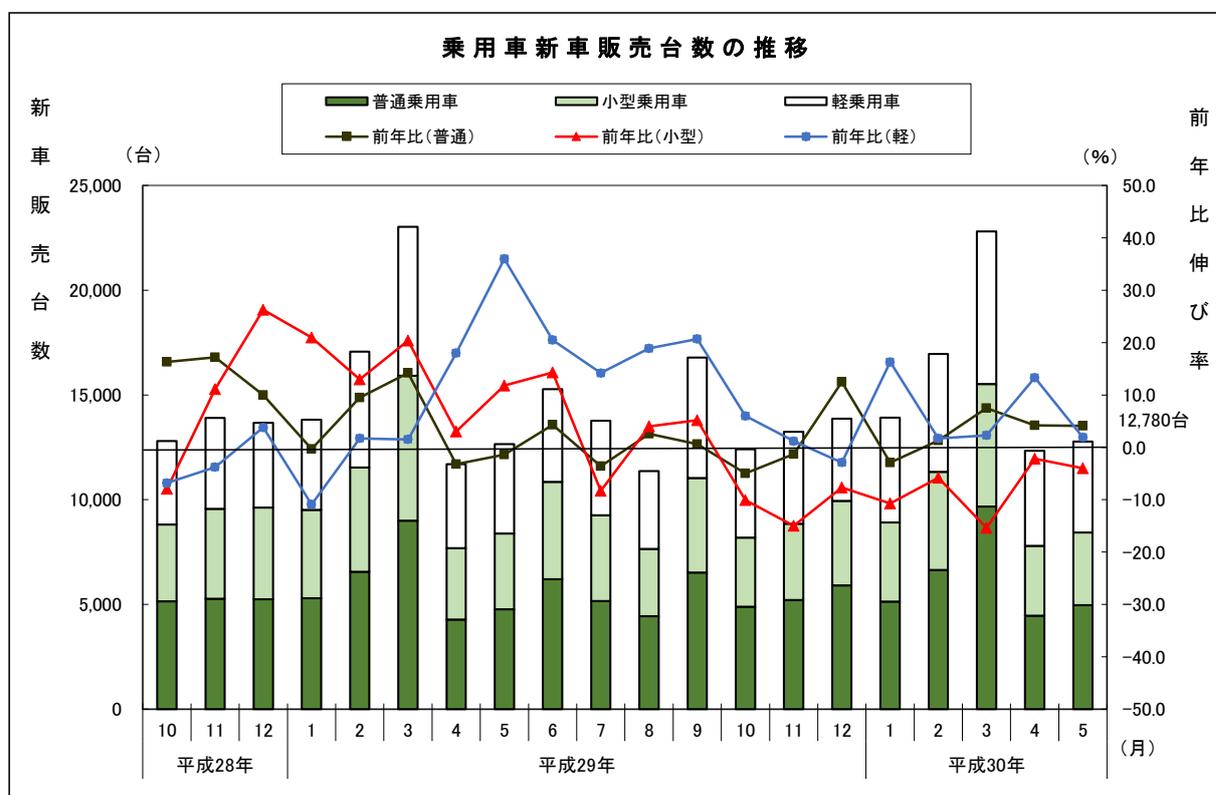
また貨物車等では、普通貨物車は355台(前年同月比9.2%増)、小型貨物車は692台(同21.6%増)、軽貨物車は1,152台(同8.0%増)、バスは18台(同43.8%減)となった。

5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,966	4.1	108,270	▲ 3.4
小型乗用車	3,464	▲ 4.0	93,761	▲ 1.2
軽乗用車	4,350	1.9	105,683	0.2
<b>乗用車合計</b>	<b>12,780</b>	<b>1.0</b>	<b>307,714</b>	<b>▲ 1.5</b>
普通貨物車	355	9.2	12,790	18.7
小型貨物車	692	21.6	20,411	7.7
軽貨物車	1,152	8.0	30,151	1.8
<b>貨物車合計</b>	<b>2,199</b>	<b>12.1</b>	<b>63,352</b>	<b>6.8</b>
バス	18	▲ 43.8	791	▲ 6.8
<b>登録車総計</b>	<b>14,997</b>	<b>2.4</b>	<b>371,857</b>	<b>▲ 0.2</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が6月11日に発表した機械受注統計によると、平成30年4月実績は以下のとおり。

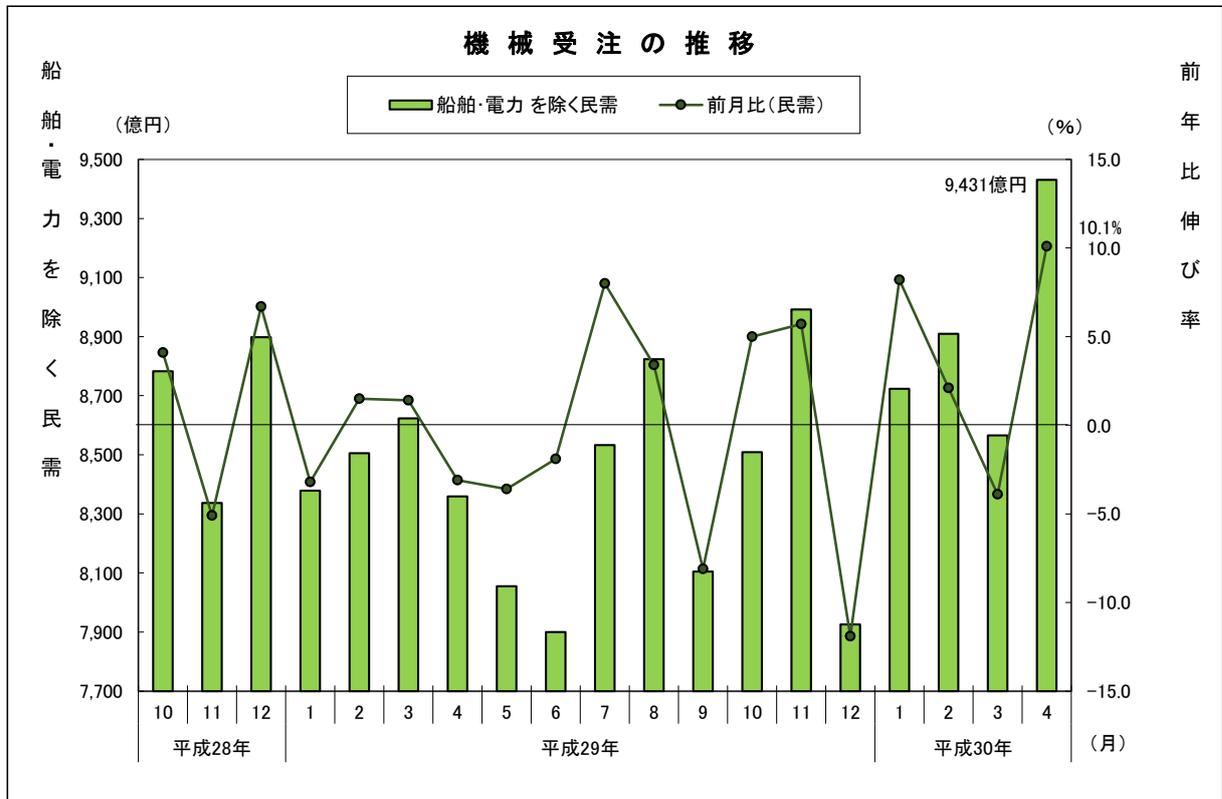
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成30年3月前月比7.9%減の後、4月は同12.6%増の2兆5,080億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比3.9%減の後、4月は同10.1%増の9,431億円となった。

内訳をみると、製造業は同22.7%増の4,479億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同0.4%増の4,778億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、繊維工業(40.9%増)、パルプ・紙・紙加工品(118.4%増)、窯業・土石製品(75.0%増)、鉄鋼業(37.7%増)、非鉄金属(159.2%増)、金属製品(26.0%増)、はん用・生産用機械(13.6%増)、業務用機械(4.4%増)、情報通信機械(26.5%増)、自動車・同付属品(5.6%増)、造船業(285.0%増)、その他輸送用機械(66.9%増)、「その他製造業」(14.1%増)等の13業種で、食品製造業(2.8%減)、化学工業(32.0%減)、石油製品・石炭製品(31.1%減)、電気機械(20.0%減)等の4業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、農林漁業(13.7%増)、電力業(94.4%増)、情報サービス業(31.7%増)、リース業(6.8%増)、「その他非製造業」(6.7%増)等の5業種で、鉱業・採石業・砂利採取業(6.6%減)、建設業(21.9%減)、運輸業・郵便業(32.0%減)、通信業(19.5%減)、卸売業・小売業(9.8%減)、金融業・保険業(5.6%減)、不動産業(27.5%減)等の7業種は減少となった。



## 機 械 受 注 統 計 (平成 30 年 4 月分)

	2017 年 4～6 月 実績	7～9 月 実績	10～12 月 実績	2018 年 1～3 月 実績	4～6 月 見通し	2018 年 1 月 実績	2 月 実績	3 月 実績	4 月 実績
受注総額	67,991 ( 1.7) [ 4.6]	72,307 ( 6.3) [ 13.0]	75,185 ( 4.0) [ 3.6]	71,213 ( -5.3) [ 4.6]	78,248 ( 9.9) [ 10.6]	24,745 ( 4.5) [ 10.7]	24,188 ( -2.3) [ 9.4]	22,280 ( -7.9) [ -1.0]	25,080 ( 12.6) [ 9.7]
民 需	28,875 ( -0.7) [ -2.7]	30,525 ( 5.7) [ 1.6]	31,466 ( 3.1) [ -4.1]	30,372 ( -3.5) [ 0.6]	32,433 ( 6.8) [ 8.2]	9,856 ( -3.4) [ 5.3]	11,321 ( 14.9) [ 7.5]	9,196 ( -18.8) [ -5.0]	10,587 ( 15.1) [ 12.1]
〃 (Ex 船・電)	24,598 ( -3.4) [ -1.0]	25,289 ( 2.8) [ -2.5]	25,366 ( 0.3) [ 0.0]	26,198 ( 3.3) [ 0.2]	28,068 ( 7.1) [ 7.9]	8,723 ( 8.2) [ 2.9]	8,910 ( 2.1) [ 2.4]	8,566 ( -3.9) [ -2.4]	9,431 ( 10.1) [ 9.6]
製造業	10,797 ( 2.6) [ 3.5]	11,467 ( 6.2) [ 9.2]	11,873 ( 3.5) [ 13.3]	12,168 ( 2.5) [ 10.6]	13,368 ( 9.9) [ 18.0]	4,094 ( 9.9) [ 16.8]	4,423 ( 8.0) [ 21.4]	3,650 ( -17.5) [ 1.5]	4,479 ( 22.7) [ 23.5]
非製造業 (Ex 船・電)	13,892 ( -8.1) [ -4.5]	13,897 ( 0.0) [ -10.1]	13,602 ( -2.1) [ -9.7]	14,070 ( 3.4) [ -6.9]	14,586 ( 3.7) [ 0.1]	4,654 ( 4.4) [ -7.0]	4,657 ( 0.0) [ -10.4]	4,759 ( 2.2) [ -4.9]	4,778 ( 0.4) [ -1.1]
官 公 需	7,133 ( -11.7) [ 1.9]	7,959 ( 11.6) [ 1.0]	7,562 ( -5.0) [ -12.7]	7,075 ( -6.4) [ -7.8]	7,155 ( 1.1) [ -1.6]	2,076 ( -18.7) [ -32.5]	2,566 ( 23.6) [ 6.7]	2,432 ( -5.2) [ -4.6]	2,582 ( 6.2) [ 3.4]
外 需	28,301 ( 7.9) [ 12.4]	30,806 ( 8.8) [ 32.6]	30,985 ( 0.6) [ 17.7]	30,471 ( -1.7) [ 14.3]	33,897 ( 11.2) [ 16.3]	10,971 ( 11.6) [ 27.2]	10,113 ( -7.8) [ 14.8]	9,386 ( -7.2) [ 5.7]	10,324 ( 10.0) [ 9.7]
代 理 店	3,795 ( 5.8) [ 13.9]	3,695 ( -2.6) [ 4.7]	3,644 ( -1.4) [ 2.8]	3,656 ( 0.3) [ 1.7]	3,830 ( 4.7) [ 2.5]	1,156 ( -3.1) [ 7.8]	1,194 ( 3.3) [ -5.1]	1,306 ( 9.3) [ 3.8]	1,303 ( -0.2) [ 5.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工総数は2,545戸(前年同月比14.5%減)となり前年を下回り、前月比では205戸の減少となった。

また、利用関係別では「持家」が859戸(前年同月比7.0%増)、「貸家」が981戸(同6.1%増)、「分譲住宅」が699戸(同42.2%減)となった。

### 4月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	859	7.0	23,289	▲1.9
・分譲住宅	699	▲42.2	24,904	5.0
貸家系・貸家	981	6.1	35,447	▲2.1
・給与住宅	6	▲84.6	586	79.8
<b>総数</b>	<b>2,545</b>	<b>▲14.5</b>	<b>84,226</b>	<b>0.3</b>

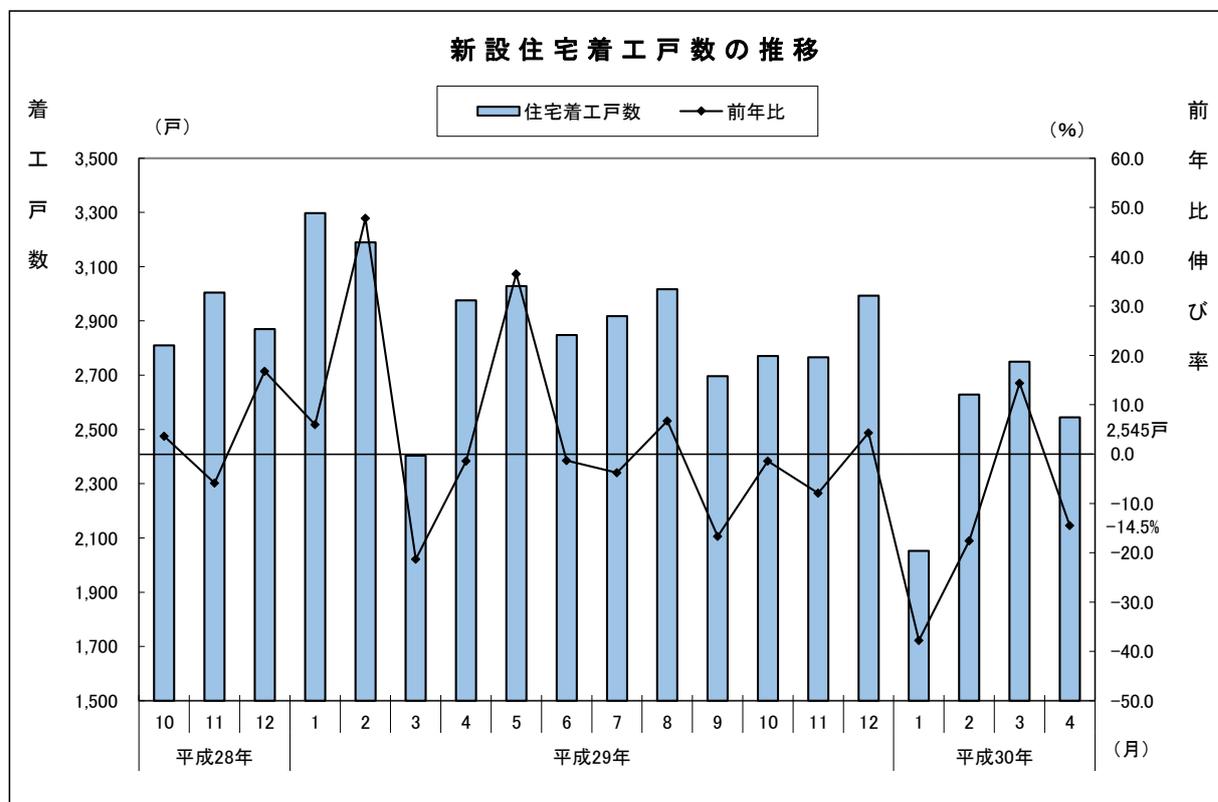
資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

### 4月の地域別着工戸数

(単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	500	559	252	435	78	534	66	40	30	51	2,545
前月比	▲56.5	27.0	4.1	12.7	▲47.7	130.2	3.1	▲7.0	11.1	183.3	▲7.5

資料：兵庫県住宅政策課



## 【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は308件で前年同月35.7%の増加、請負金額は269億51百万円で前年同月比3.1%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」前年同月比157.2%、「神戸市を除く市町」同30.3%、「兵庫県」同11.3%の増加となったが、「その他の団体」同2.0%、「神戸市」同16.0%、「独立行政法人等」同79.7%の減少となったため、前年同月比3.1%の減少となった。

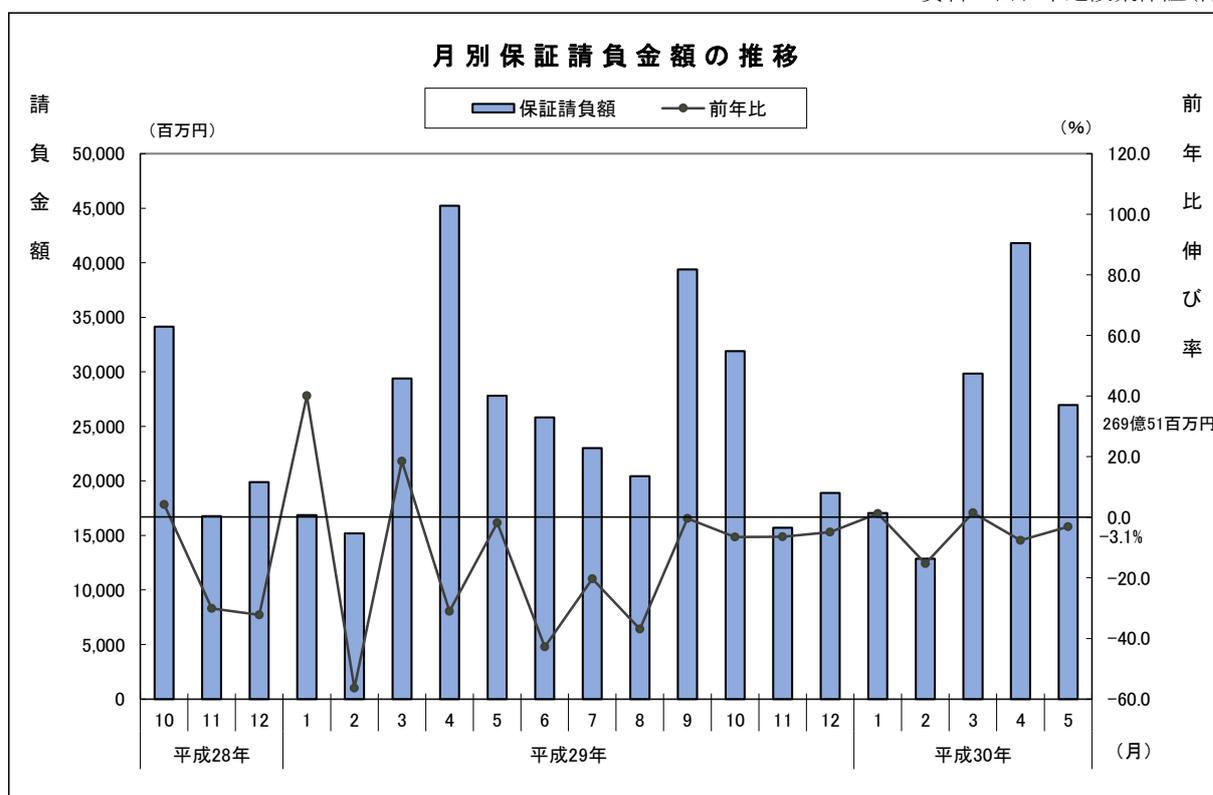
地域別(金額ベース)では、但馬(前年同月比304.1%増)、北播磨(同53.8%増)、丹波(同26.0%増)、東播磨(同24.7%増)、神戸市(同6.9%増)が増加したが、阪神南(同12.8%減)、中播磨(同21.1%減)、淡路(同49.8%減)、西播磨(同58.5%減)、阪神北(同59.4%減)が減少したため、前年同月比3.1%の減少となった。

### 5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	29( 52.6)	4,595( 157.2)	日高豊岡南道路祢布トンネル工事
独立行政法人等	8(▲11.1)	1,545(▲79.7)	新名神高速道路猪名川中工事 他1件
兵庫県	117( 51.9)	9,726( 11.3)	道路防災安第8001-0-002号(主)篠山山南線川代道路川代2号、3号トンネル建設工事 他2件
神戸市	23( 64.3)	1,854(▲16.0)	28A4-077兵庫区総合庁舎・消防署建設電気設備工事
神戸市を除く市町	111( 19.4)	7,695( 30.3)	K2-1 市立長尾中学校屋内運動場外新築等(建築)工事 他1件
その他の団体	20( 33.3)	1,533(▲2.0)	キャンパススクエア本館他リニューアル工事
合計	308( 35.7)	26,951(▲3.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成30年5月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,769億円、前年同月比12.1%の増加で、総額ベースで16か月連続して増加となった。輸出は電池などが減少したものの、無機化合物、建設用・鉱山用機械などが増加した。一方、輸入は大豆などが減少したものの、たばこ、医薬品などが増加した。

輸出は4,660億円(前年同月比11.6%増)と3か月連続で増加した。

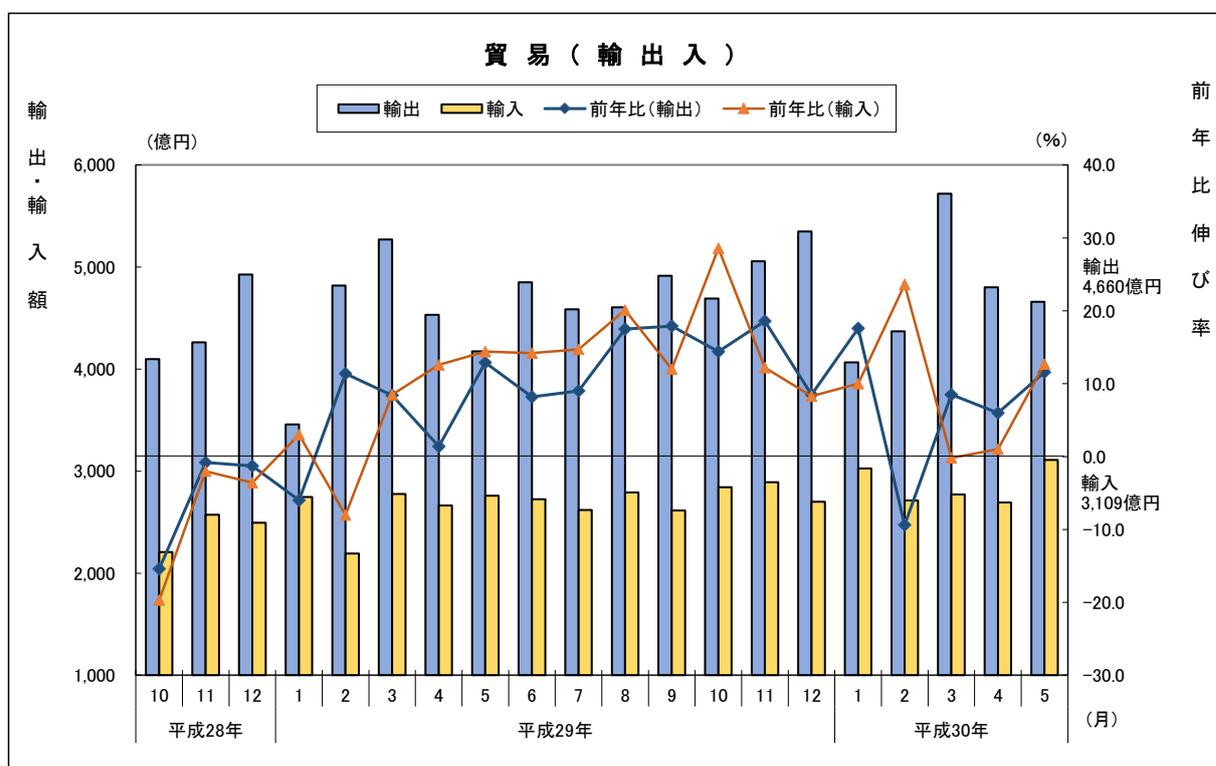
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比25.0%増、3か月連続プラス)、プラスチック(同16.4%増、3か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(同3.3%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、原動機(同10.7%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比25.0%増、3か月連続プラス)、EU(同20.1%増、3か月連続プラス)、アジア(同13.3%増、3か月連続プラス)、米国(同1.4%増、4か月ぶりにプラス)が増加した。

輸入は3,109億円(前年同月比12.7%増)と2か月連続で増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比37.5%増、19か月連続プラス)、たばこ(同36.4%増、2か月ぶりにプラス)、衣類及び同附属品(同21.2%増、2か月連続プラス)、有機化合物(同11.9%増、2か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比25.6%増、16か月連続プラス)が増加し、中国(同18.8%増、2か月連続プラス)、アジア(同18.7%増、2か月連続プラス)が増加し、米国(同6.3%減、4か月連続マイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が101.0(2015年=100)となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.8%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は100.9となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.6%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.2となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.4%の増加となった。

前月からの動きを見ると、電気代などの増加により「光熱・水道」が0.8%、医薬品・健康保持用摂取品などの増加により「保健医療」が0.7%、肉類などの増加により「食料」が0.1%、衣料などの増加により「被服及び履物」が0.6%、家賃などの増加により「住居」が0.1%、家庭用耐久財などの増加により「家具・家事用品」が0.2%増加した。

### 5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	101.0	102.9	100.4	96.0	97.2	102.0	103.4	99.2	103.2	100.6	102.6	100.9	101.2
前月比	0.2	0.1	0.1	0.8	0.2	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
前年同月比	0.8	1.7	0.0	1.2	0.3	▲1.5	3.0	1.0	0.9	▲0.4	0.7	0.6	0.4

(注)2015年=100

資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

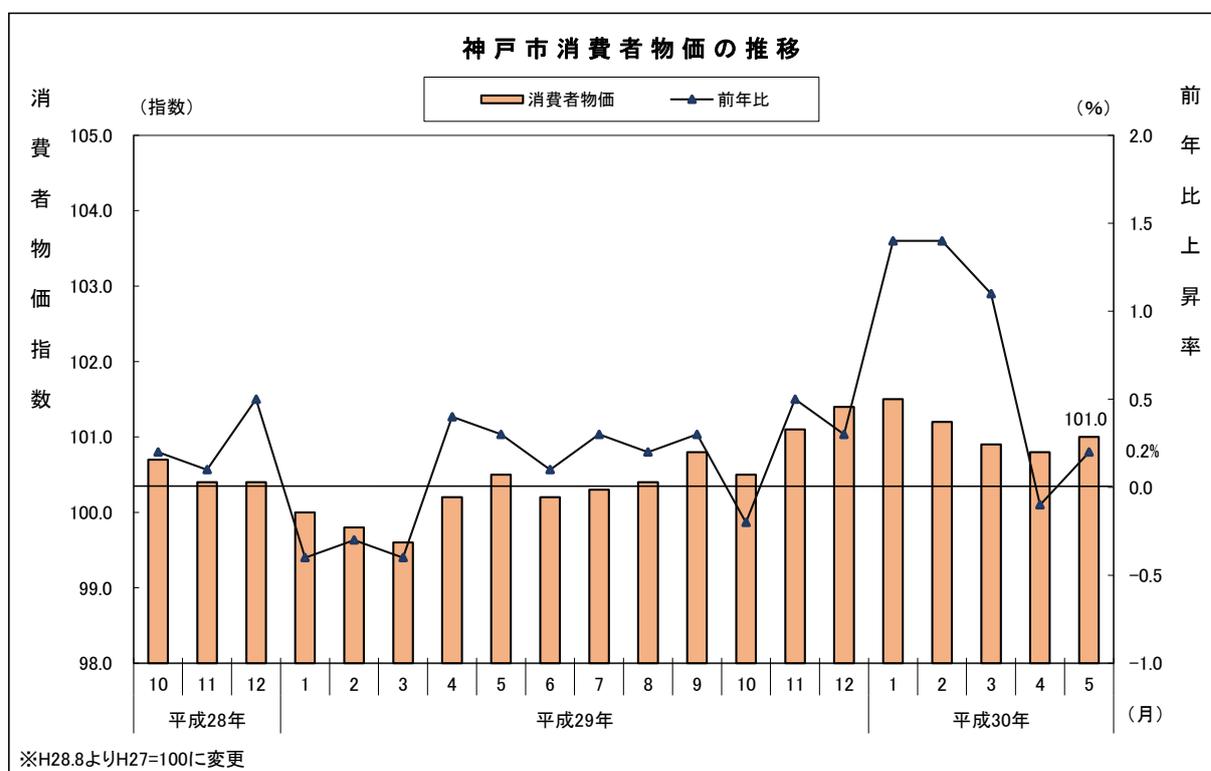
電気代 (1.4%)・・・電気代

医薬品・健康保持用摂取品 (1.9%)・・・鼻炎薬

#### ○対前月比値下がりした主な品目

交通 (▲0.1%)・・・航空運賃

身の回り用品 (▲0.4%)・・・バッグ(国産品)



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2018年5月の企業物価指数は次のとおり。

5月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

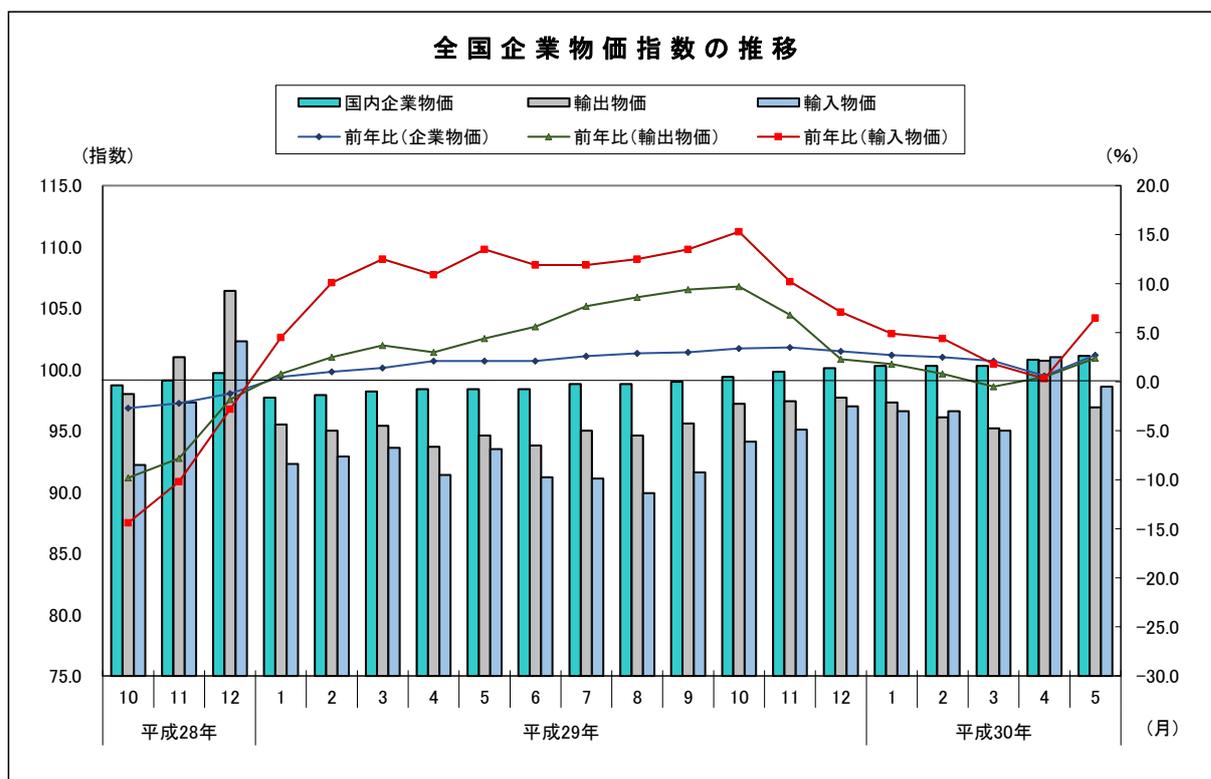
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.1	0.6	2.7
輸 出 物 価	96.9	1.1	2.4
輸 入 物 価	98.6	2.7	6.5

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、化学製品（前月比1.1%増<キシレンなど>）、石油・石炭製品（同4.3%増<ガソリンなど>）、鉄鋼（同0.3%増<小形棒鋼など>）、非鉄金属（同1.1%増<アルミニウム合金・同二次合金地金など>）、はん用機器（同0.4%増<業務用エアコンなど>）、農林水産物（同1.4%増<豚肉など>）、電力・都市ガス・水道（同1.6%増<産業用特別高圧電力など>）、スクラップ類（同1.6%増<鉄くずなど>）等が増加し、円ベースでは前月比0.6%の増加（前年同月2.7%増）となった。

輸出物価は、はん用・生産用・業務用機器（前月比0.2%増<印刷関連機械など>）、電気・電子機器（同0.8%増<モス型メモリ集積回路など>）、輸送用機器（同0.6%増<普通乗用車（ガソリン車）など>）、その他製品・製品（同4.3%増<人造黒鉛電極など>）等が増加し、円ベースでは前月比1.1%の増加（前年同月比2.4%増）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比1.8%増<とうもろこしなど>）、金属・同製品（同4.2%増<鉄鉱石など>）、石油・石炭・天然ガス（同5.8%増<原油など>）、化学製品（同1.2%増<飽和ポリエステル樹脂など>）はん用・生産用・業務用機器（同1.7%増<医療用機器など>）、電気・電子機器（同0.6%増<携帯電話機など>）等が増加し、円ベースでは前月比2.7%の増加（前年同月比6.5%増）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、35,194人(前年同月比4.5%増)で、31か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は104,061人(同7.1%増)で96か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比2.7%増で3か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.5%増で28か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同4.9%減で14か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比1.4%増)、運輸業、郵便業(同8.1%増)、卸売業、小売業(同12.1%増)、医療、福祉(同5.3%増)、サービス業(同11.8%増)は増加したが、製造業(同2.5%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同15.0%減)、宿泊業、飲食サービス業(同3.7%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同13.3%減)は減少した。

### (2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は23,409件(前年同月比1.9%減)で7か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、79,177人(同3.1%減)で95か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比4.8%減で20か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同2.6%増で4か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比18.5%減で5か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比5.5%減で7か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同5.1%減で2か月ぶりに減少した。自己都合離職者は同4.5%減で29か月連続して前年を下回り、自営・他は同6.8%減で5か月連続して前年を下回った。無業者は同2.9%減で76か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、15,634人(前年同月比0.0%減)で63か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が2.03倍(前月比0.03ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率が1.38倍で前月と同水準だった。

### (4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.5%、完全失業者数(原数値)は180万人(前年同月比17万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.6%(前年同月比0.3ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は28万人(前年同月差3万人減)であった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
30年4月	35,194	2,466	3,902	311	1,835	4,497	196	987	753	3,640	1,226	9,512	4,669
前年同月比	4.5	1.4	▲2.5	4.0	8.1	12.1	28.1	22.9	▲15.0	▲3.7	▲13.3	5.3	11.8

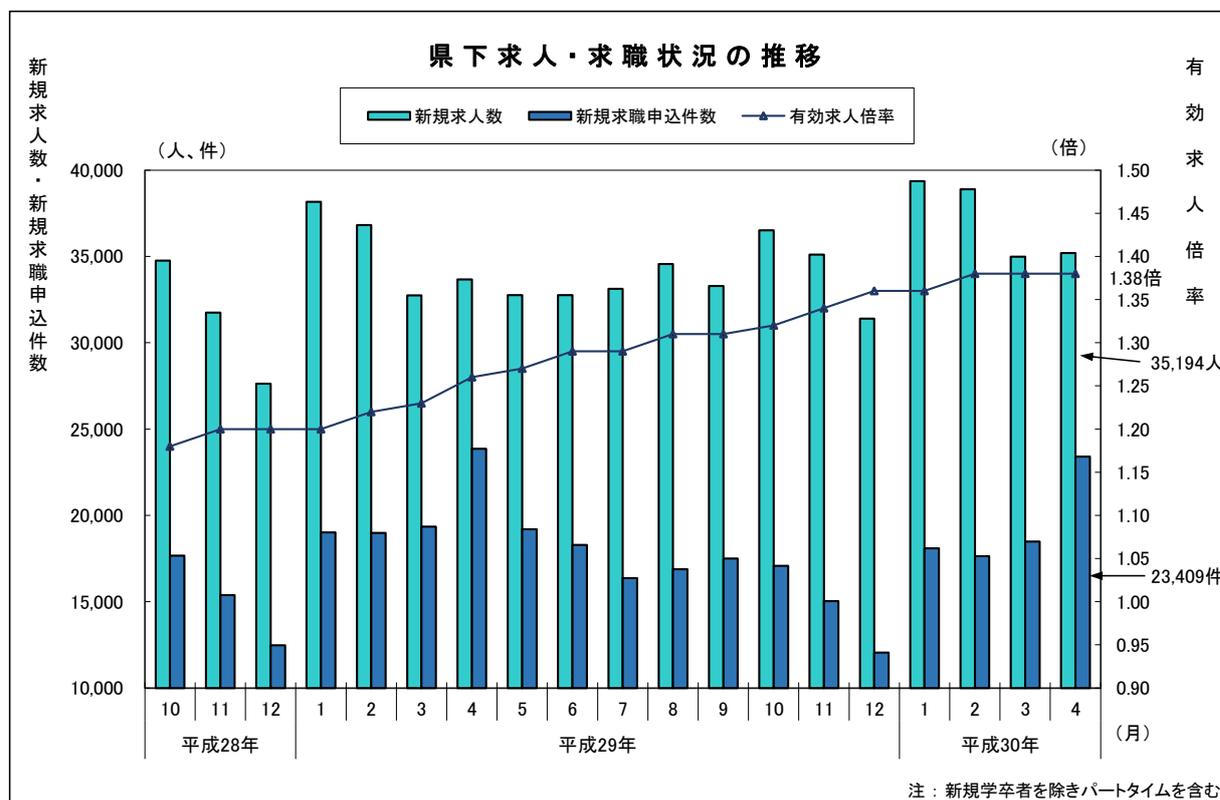
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇用・賃金の推移

項目・年月	17/4-6	17/7-9	17/10-12	18/1	18/2	18/3	18/4
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.27	1.30	1.33	1.36	1.38	1.38	1.38
新規求人数 (原数値、前年比%)	6.8	6.0	9.7	3.1	5.6	6.9	4.5
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	▲1.4	0.6	▲0.7	4.2	7.2	2.9	9.9
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.1	▲1.0	▲0.6	0.0	0.5	0.6	0.1
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.9	1.7	1.8	1.0	1.4	1.3	1.6

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



## 【信用保証】

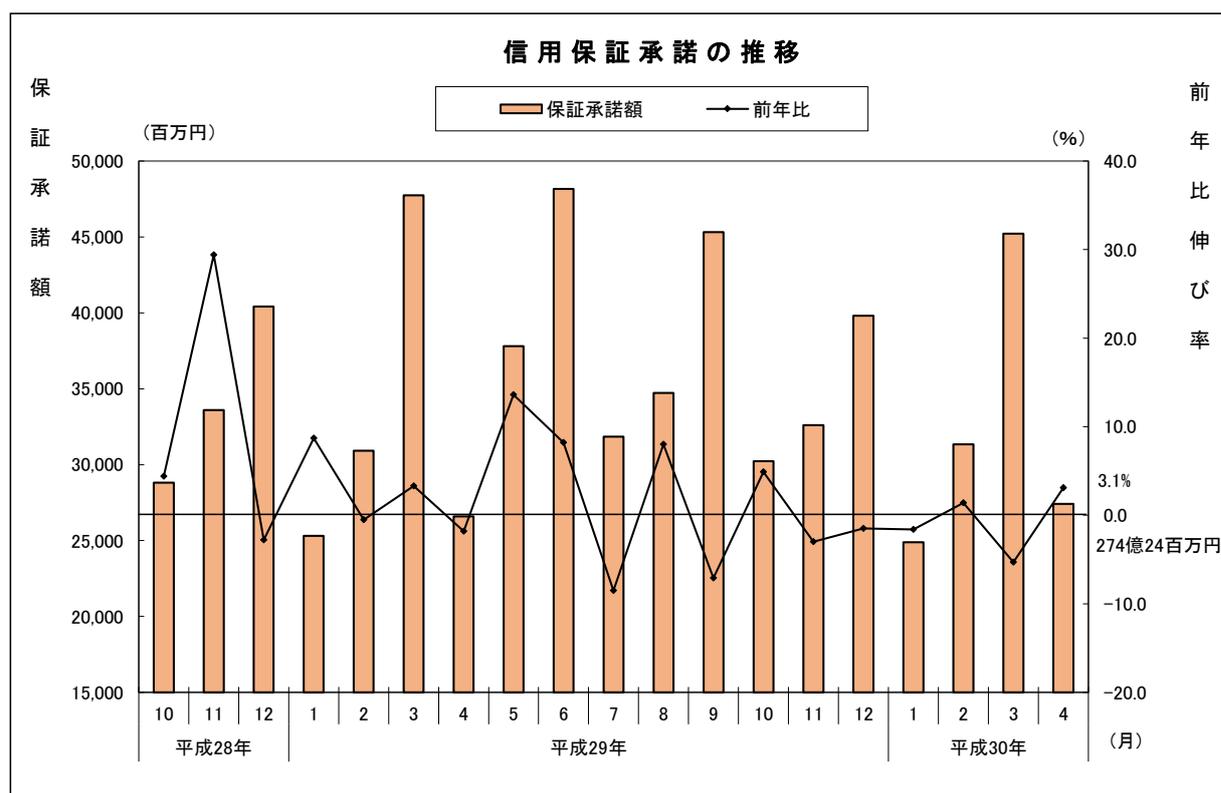
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾は、件数で1,749件(前年同月比3.7%減)、金額は274億24百万円(同3.1%増)となり、前年同月と比べ、件数で下回り、金額で上回った。

資金使途別では、運転資金26,064百万円(前年同月比4.2%増)、設備資金514百万円(同9.8%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」883百万円(前年同月比45.3%増)、「不動産業」1,730百万円(同40.6%増)、「サービス業」3,747百万円(同28.0%増)、「卸売業」4,285百万円(同16.8%増)、「運送・倉庫業」1,607百万円(同10.2%増)、「製造業」4,777百万円(同5.1%増)等で前年同月を上回り、「建設業」7,145百万円(同12.5%減)、「小売業」3,006百万円(同20.3%減)で前年同月を下回った。

4月末の保証債務残高は、92,507件(前年同月比0.8%増)、1兆956億70百万円(同2.0%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、106件(前年同月比19.7%減)、8億35百万円(同49.1%減)となった。



## 【金 融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

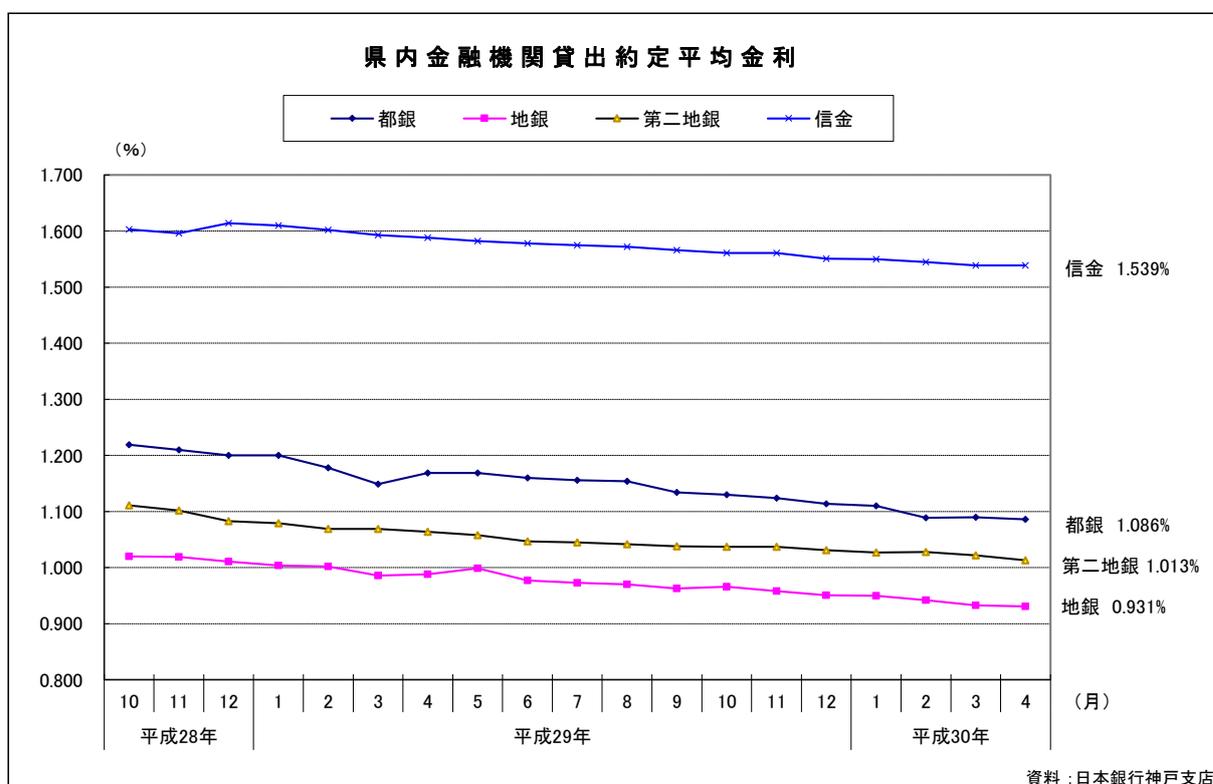
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	167,834	2.8	52,902	▲ 0.2
地 方 銀 行	28,654	2.8	28,804	7.3
第 二 地 方 銀 行	35,668	3.1	23,381	1.4
信 用 金 庫	87,540	2.1	40,099	1.2
そ の 他	18,338	1.9	17,439	▲ 0.4
計	<b>338,034</b>	<b>2.6</b>	<b>162,625</b>	<b>1.6</b>

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.6%増)

4月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比1.6%増)

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.203%、前月比▲0.002%ポイント)。



## 【倒 産】

県内5月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は40件で前月比7件（21.21%）の増加、前年同月比3件（6.97%）の減少となり、負債総額は28億1百万円で前月比6億56百万円（18.97%）の減少、前年同月比20億3百万円（41.69%）の減少となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が34件（全体の85.0%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が14件（前年同月比1件減少）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が33件発生し、全体の82.5%を占めた。

2018年5月の倒産件数は5月単月では過去10年間（平成21年以降）で3番目に少ない水準（最多は平成21年の67件）。負債総額では、5月単月では過去10年間で2番目に少ない水準（最大は平成21年の132億23百万円）となった。

産業別では10産業のうちサービス業他で依然高い水準が続いている。当月も「小規模な倒産」が主流となった。また、業績不振・販売低迷に喘ぐ中小・零細業者が、市場からの撤退を余儀なくされている状況にあると言える。

当地の景気は引き続き緩やかな拡大傾向にあるものの、足元では石油燃料価格の高騰や人手不足による人件費の高騰など、景気拡大に水を差す要因もある。当面、小規模・零細企業を中心に企業倒産は一進一退で推移するものと見られる。

### 5月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	3	0	1	2	建設業	9	3	6	7	2
過小資本	1	0	1	1	0	製造業	5	4	1	6	▲1
連鎖倒産	2	5	▲3	3	▲1	卸売業	3	6	▲3	3	0
赤字累積	2	1	1	7	▲5	小売業	3	9	▲6	7	▲4
販売不振	32	24	8	28	4	情報通信業	2	0	2	2	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	14	9	5	15	▲1
その他	0	0	0	3	▲3	不動産・運輸業他	4	2	2	3	1
合計	40	33	7	43	▲3	合計	40	33	7	43	▲3

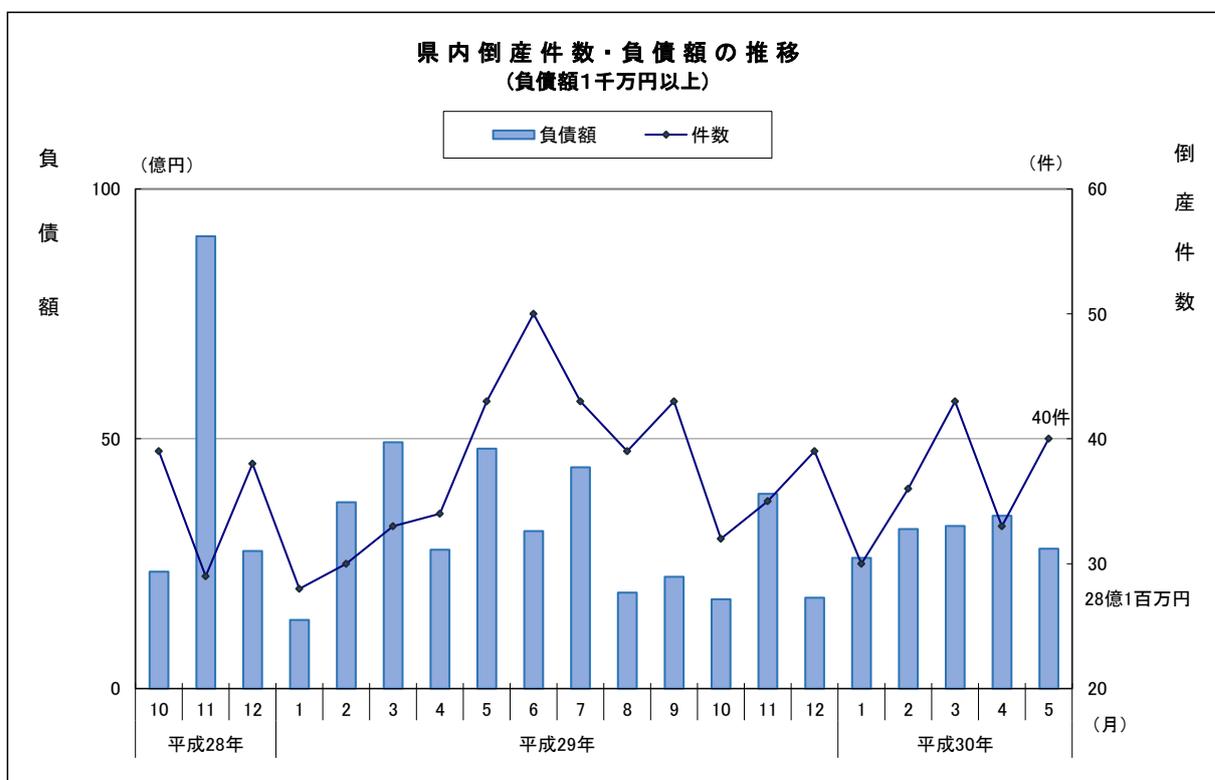
資料：東京商工リサーチ神戸支店

### 県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額1,000万円以上）

（単位：件数）

年月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 平均	36.1	12.8	12	4.5	4.9	0.8	0.5	0.5
29年 1月	28	8	9	7	4	0	0	0
29年 2月	30	14	9	2	3	1	1	0
29年 3月	33	12	8	4	6	2	0	1
29年 4月	34	14	10	4	3	0	2	1
29年 5月	43	20	14	4	2	2	0	1
29年 6月	50	16	20	4	5	4	1	0
29年 7月	43	17	12	8	5	1	0	0
29年 8月	39	14	8	9	4	2	0	2
29年 9月	43	11	20	8	2	1	0	1
29年 10月	32	7	8	7	7	1	0	2
29年 11月	35	14	7	6	4	1	1	2
29年 12月	39	15	12	1	7	1	1	2
30年 1月	30	12	4	6	5	2	0	1
30年 2月	36	18	6	5	5	2	0	0
30年 3月	43	15	16	5	5	1	0	1
30年 4月	33	11	8	7	7	0	0	0
30年 5月	40	17	12	9	2	0	0	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全国 (既存店)	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	162	△ 3.0	△ 1.1	13,816	1.4	4.4
2月	105.8	12.3	101.7	3.2	132	△ 4.1	△ 2.7	17,070	7.8	8.2
3月	97.2	△ 8.5	99.8	△ 1.9	157	△ 2.4	△ 0.8	23,033	11.6	9.6
4月	103.8	6.8	103.8	4.0	117.4	0.3	1.1	11,695	5.1	10.4
5月	100.8	△ 3.6	100.1	△ 3.6	117.7	△ 3.2	△ 0.6	12,649	12.9	13.4
6月	104.1	2.9	102.3	2.2	119.5	△ 0.5	△ 1.4	15,276	11.6	15.1
7月	96.3	△ 8.5	101.5	△ 0.8	144.7	△ 2.0	△ 0.2	13,775	0.0	2.6
8月	106.4	7.3	103.5	2.0	112.7	0.7	0.6	11,369	7.8	4.1
9月	94.6	△ 11.2	102.5	△ 1.0	106.9	△ 1.8	1.9	16,788	8.0	5.3
10月	103.1	8.4	103.0	0.5	116.4	△ 5.1	△ 0.5	12,413	△ 3.0	△ 1.2
11月	104.3	1.5	103.5	0.5	129.8	△ 0.4	3.6	13,241	△ 4.7	△ 2.7
12月	99.5	△ 5.1	106.5	2.9	188.7	△ 1.6	0.8	13,867	1.5	△ 0.8
30年 1月	97.4	△ 2.2	99.3	△ 6.8	132.0	△ 2.2	△ 0.1	13,913	0.7	△ 1.1
2月	100.7	3.4	102.1	0.0	105.5	△ 4.3	0.3	16,965	△ 0.6	△ 2.8
3月	104.0	△ 1.6	104.1	1.4	129.3	△ 1.1	0.9	22,808	△ 1.0	△ 3.6
4月	102.6	△ 1.5	104.6	0.5	112.4	△ 4.2	1.5	12,334	5.5	2.6
5月								12,780	1.0	△ 1.5
6月										
7月										
8月										
9月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
29年 1月	3,297	6.0	12.8	168	40.1	7.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	3,190	47.8	△ 2.6	151	△ 56.4	10.4	4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月	2,403	△ 21.3	0.2	293	18.5	10.9	5,271	8.4	2,777	8.5
4月	2,976	△ 1.4	1.9	452	△ 31.0	1.7	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	3,028	36.5	△ 0.3	278	△ 1.8	8.5	4,174	12.9	2,760	14.4
6月	2,848	△ 1.3	1.7	258	△ 42.8	△ 0.6	4,850	8.2	2,726	14.2
7月	2,918	△ 3.8	△ 2.3	230	△ 20.3	△ 5.4	4,585	9.0	2,619	14.7
8月	3,017	6.7	△ 2.0	204	△ 36.9	△ 7.9	4,607	17.5	2,792	20.1
9月	2,696	△ 16.7	△ 2.9	393	△ 0.4	△ 10.4	4,914	17.9	2,615	15.8
10月	2,771	△ 1.4	△ 5.3	319	△ 6.5	3.9	4,691	14.4	2,843	28.6
11月	2,766	△ 7.9	△ 0.4	157	△ 6.4	5.0	5,056	18.6	2,891	12.2
12月	2,993	4.3	△ 2.1	189	△ 4.9	△ 6.4	5,349	8.5	2,701	8.3
30年 1月	2,052	△ 37.8	△ 13.2	170	1.2	△ 12.8	4,067	17.6	3,026	10.0
2月	2,629	△ 17.6	△ 2.6	128	△ 15.3	△ 20.2	4,370	△ 9.4	2,713	23.6
3月	2,750	14.4	△ 8.3	298	1.5	△ 14.5	5,720	8.5	2,772	△ 0.2
4月	2,545	△ 14.5	0.3	418	△ 7.6	5.5	4,801	6.0	2,694	1.0
5月				269	△ 3.1	3.5	4,660	11.6	3,109	12.7
6月										
7月										
8月										
9月										
資料	兵庫県住宅地課		国土交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神戸税関			

項目 年月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全国		兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)						
29年 1月	100.0	△ 0.4	100.0	0.4	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4
2月	99.8	△ 0.3	99.8	0.3	1.22	1.43	1,045	△ 0.2	100.8	0.3
3月	99.6	△ 0.4	99.9	0.2	1.23	1.45	1,041	△ 0.1	102.7	0.6
4月	100.2	0.4	100.3	0.4	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7
5月	100.5	0.3	100.4	0.4	1.27	1.49	1,055	△ 0.5	102.0	0.8
6月	100.2	0.1	100.2	0.4	1.30	1.51	1,054	△ 0.8	102.3	1.4
7月	100.3	0.3	100.1	0.4	1.30	1.52	1,056	△ 0.4	101.6	0.0
8月	100.4	0.2	100.3	0.7	1.32	1.52	1,054	△ 0.3	101.7	0.6
9月	100.8	0.8	100.5	0.7	1.30	1.52	1,050	△ 0.5	102.9	1.3
10月	100.5	△ 0.2	100.6	0.2	1.31	1.55	1,052	△ 0.1	103.3	2.0
11月	101.1	0.5	100.9	0.6	1.32	1.56	1,053	0.1	102.9	0.3
12月	101.4	0.3	101.2	1.0	1.36	1.59	1,047	△ 0.4	103.3	1.0
30年 1月	101.5	1.4	101.3	1.4	1.36	1.59	1,066	△ 0.7	104.7	3.4
2月	101.2	1.4	101.3	1.5	1.38	1.58	1,068	△ 0.1	105.0	4.2
3月	100.9	1.1	101.0	1.1	1.38	1.59	1,065	0.2	105.9	3.1
4月	100.8	0.6	100.9	0.6	1.38	1.59	1,075	△ 0.3	108.0	4.0
5月	101.0	0.2								
6月										
7月										
8月										
9月										
資料	兵庫県統計課		総務省		兵庫県労働局		兵庫県統計課			

項目 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額			倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 (%)	(各期末) (億円)	前年比 (%)	全国銀行 (年%)			神戸 (件)	阪神 (件)	播磨他 (件)
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0	158,720	1.9	0.992	30	37	14	9	7
3月	98.2	1.4	163,048	1.2	0.982	33	49	12	8	13
4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1	160,253	2.8	0.976	43	48	20	14	9
6月	98.4	2.1	160,054	2.1	0.969	50	31	16	20	14
7月	98.8	2.6	160,032	1.6	0.965	43	44	17	12	14
8月	98.8	2.9	160,027	2.0	0.962	39	19	14	8	17
9月	99.0	3.0	161,682	2.1	0.955	43	22	11	20	12
10月	99.4	3.4	160,424	2.0	0.955	32	17	7	8	17
11月	99.8	3.5	160,904	1.9	0.954	35	38	14	7	14
12月	100.1	3.1	162,274	1.8	0.946	39	18	15	12	12
30年 1月	100.3	2.7	161,275	2.0	0.943	30	26	12	4	14
2月	100.3	2.5	161,910	2.0	0.940	36	31	18	6	12
3月	101.3	1.5	165,094	1.3	0.932	43	32	15	16	12
4月	100.4	2.0	162,625	1.6	0.929	33	34	11	8	14
5月	101.1	2.7				40	28	17	12	11
6月										
7月										
8月										
9月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値